

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立洛水高等学校 】

<スポーツ庁テーマ>

1実践テーマ	【 I・V 】
2実施対象者	本校第二学年 健康探究コース 男子：28名・女子：15名
3展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (健康探究コース) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4目 標 (ねらい)	今後のパラリンピックでは車いすバスケットが除外に進む流れがある。NBA では日本人初のプレイヤーが誕生し、バスケットへの熱気が高まっている中、車いすバスケットへの関心にもつなげていきたい。 また、車いすという用具を使うことにより障害者理解を深めたい。
5取組内容	1, 9月18日(金) 5, 6限 9月25日(金) 5, 6限 2, 事前学習日 9月11日(金) 5, 6限 車いすバスケットの映像を視聴する。 基本的な車いすの操作方法やルール確認。 事後学習日 10月2日(金) 5, 6限 実際に車いすを使用しての感想を記入。 3, 



<p>6 主な成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1, オリンピック・パラリンピックへの関心が高まった。 2, 車いすバスケットを経験することにより、普段授業で行っているバスケットボールとの違いなど、種目の特性を理解させることができた。 3, 車いすを使用したことにより、用具の大切さや動作の困難さ、身体障害者への理解に繋がった。
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1, 車いすバスケットボールについての事前学習を行い、興味・関心を持って取り組むことが出来るようにした。 2, 安全面に配慮し、車いすの操作に慣れるまで練習の時間を確保した。
<p>8 主な課題等</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1, スポーツとして親しむことはできたが、講座の人数に対しての車いすの台数が十分でなかったため、授業時間数の確保をするなど、競技として成立することが出来るレベルに引き上げることが課題として残る。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>内容について検討中</p>